

公営企業会計

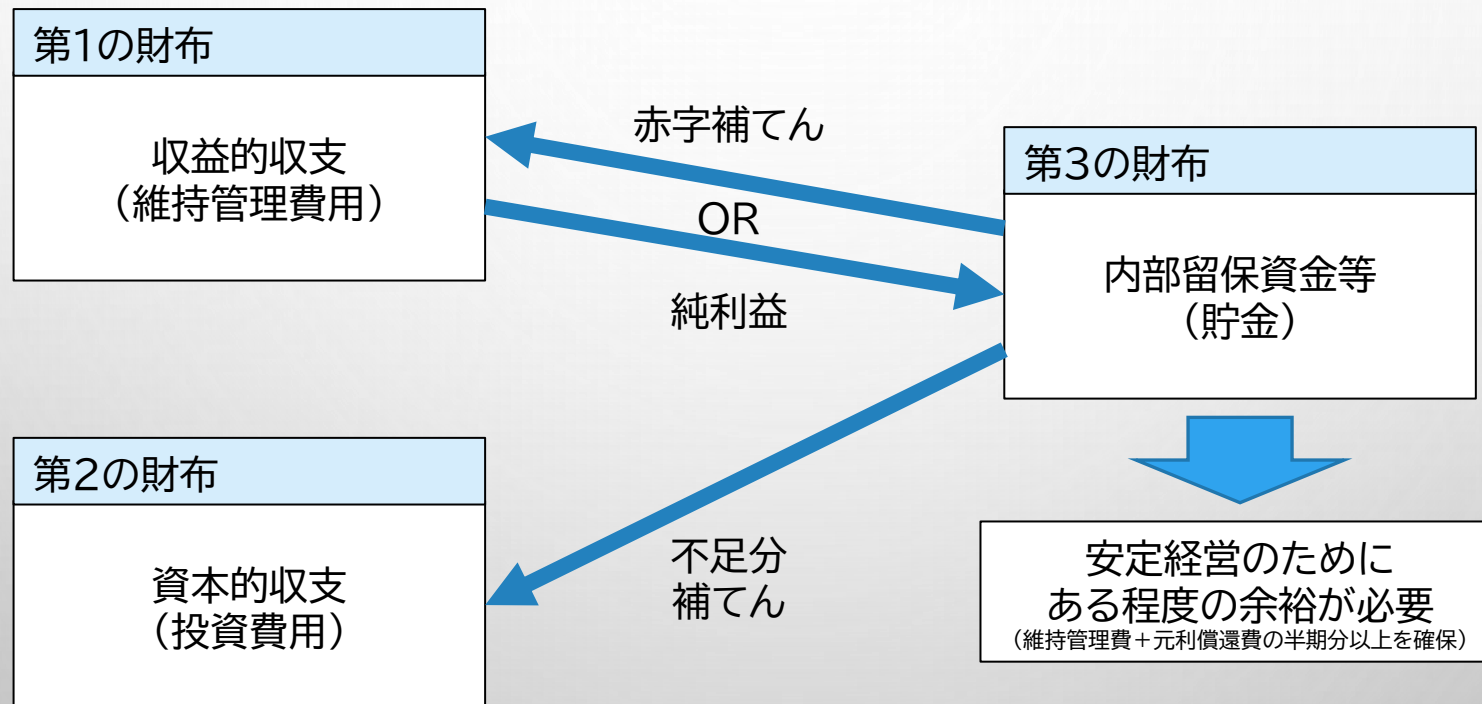
令和7年度決算の概要

第1回上下水道経営審議会

令和8年8月25日提出資料

公営企業会計予算の仕組み

※3つの財布について



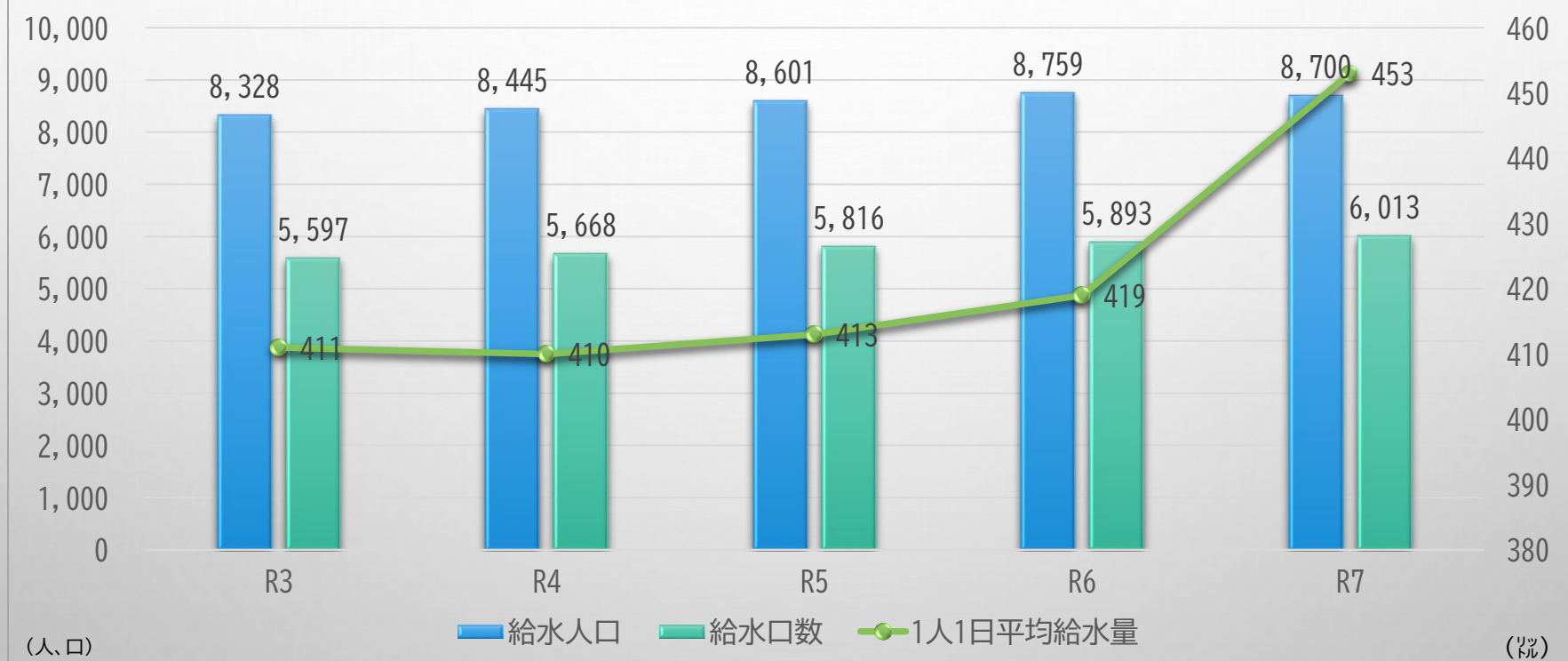
水道事業会計

令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-1 水道事業の推移

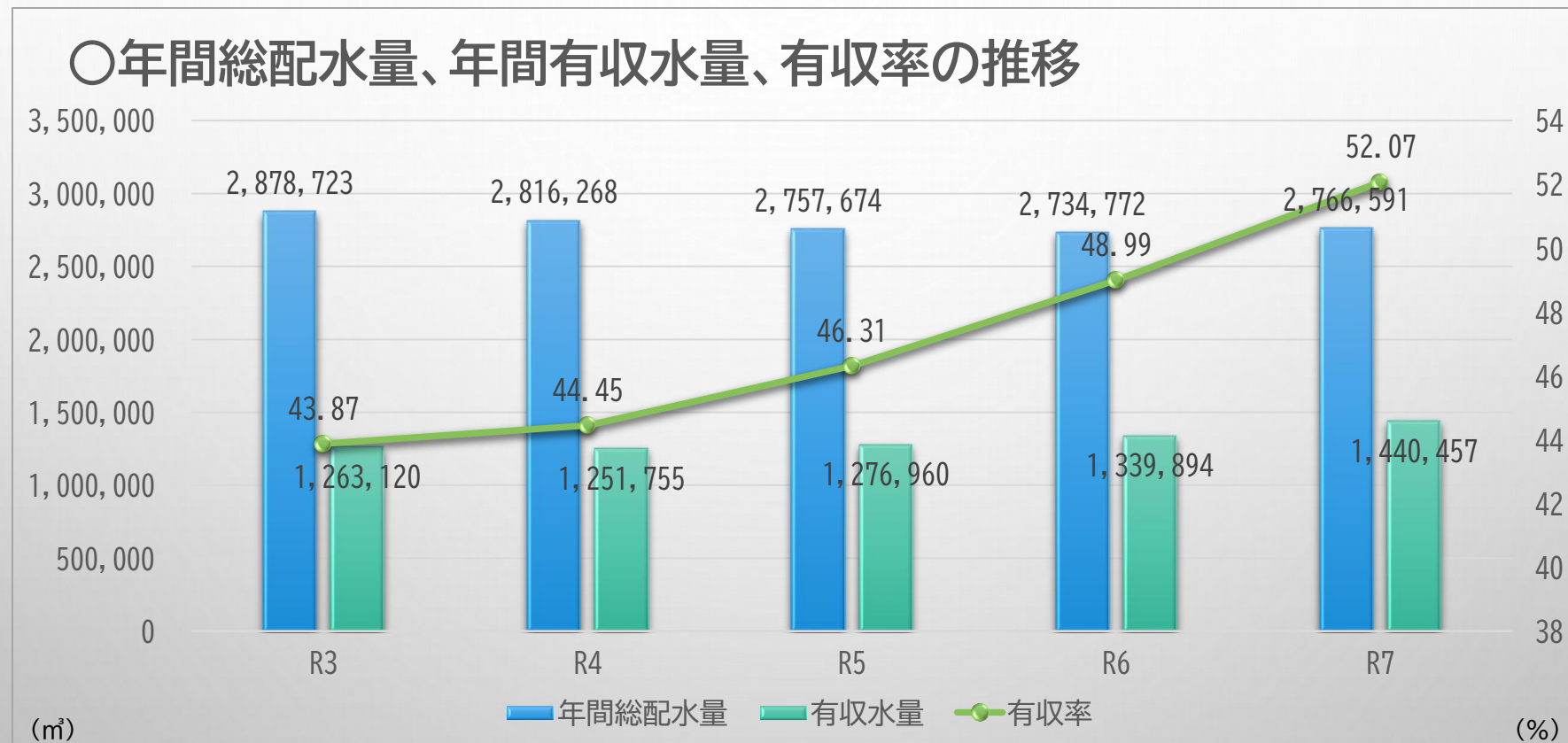
○給水人口、給水口数、1人1日平均給水量の推移



令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-1 水道事業の推移



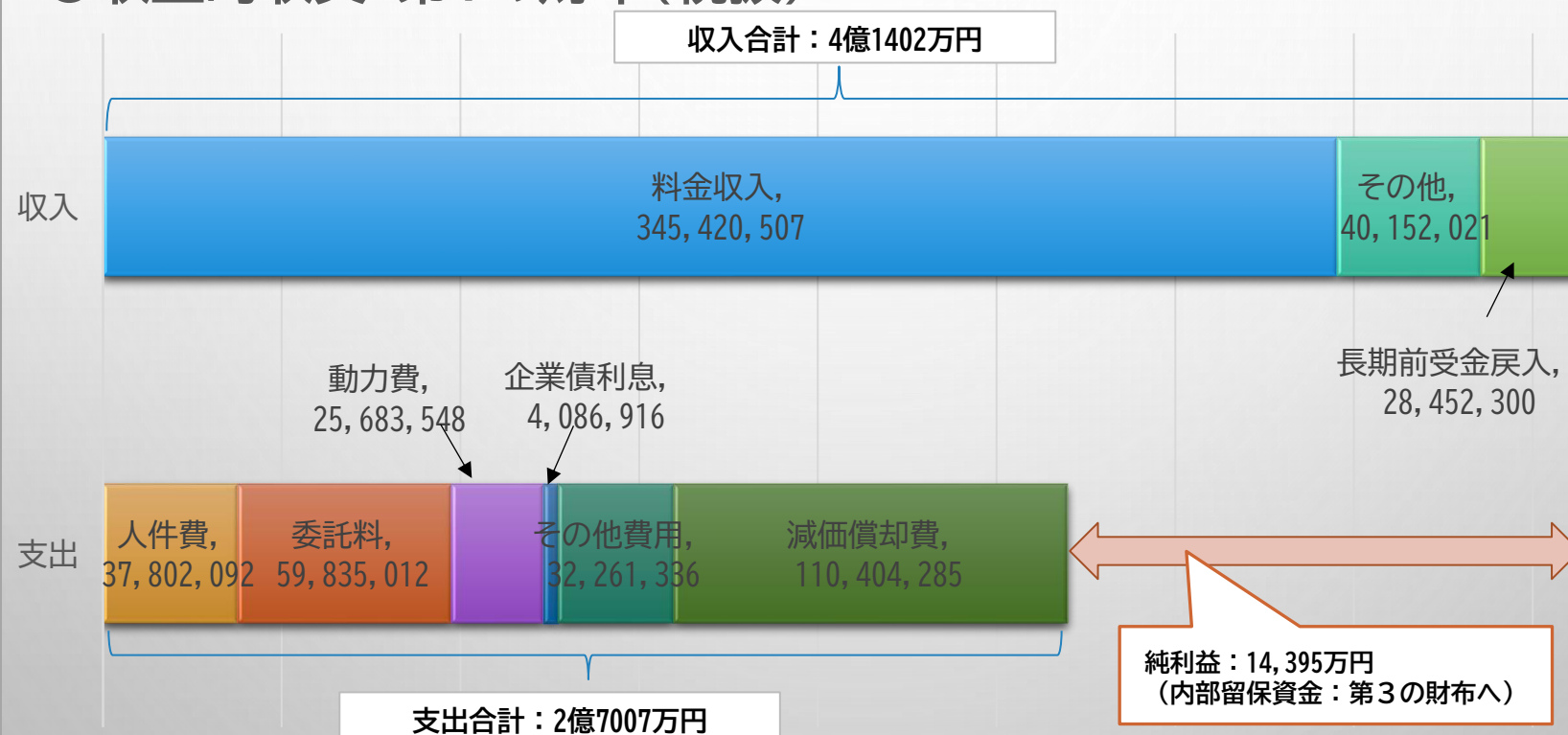
令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-2 収支の状況

○収益的収支：第1の財布(税抜)

※長期前受金戻入…補助金を貰って取得した
固定資産の減価償却費のうち補助金相当分

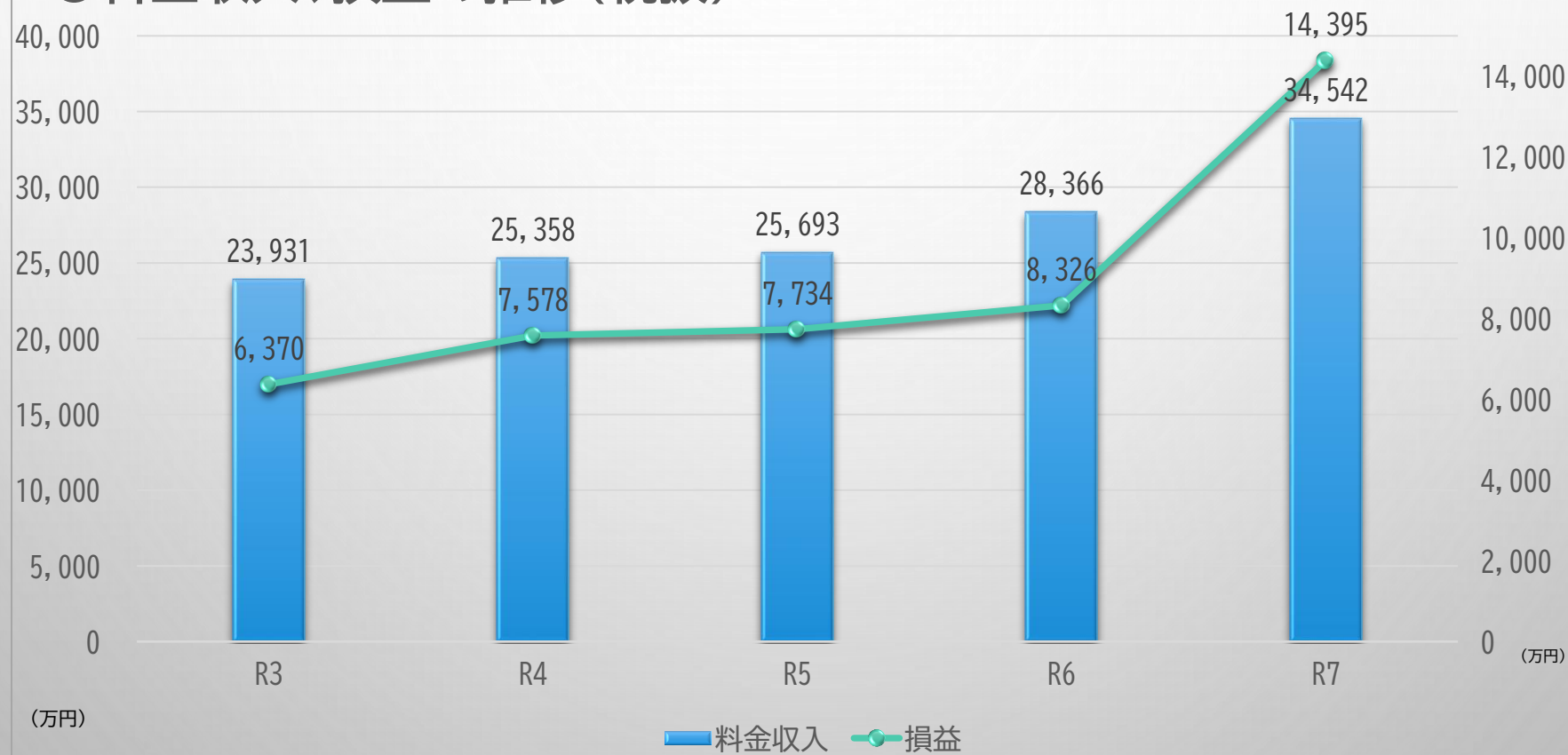


令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-2 収支の状況

○料金収入、損益の推移(税抜)

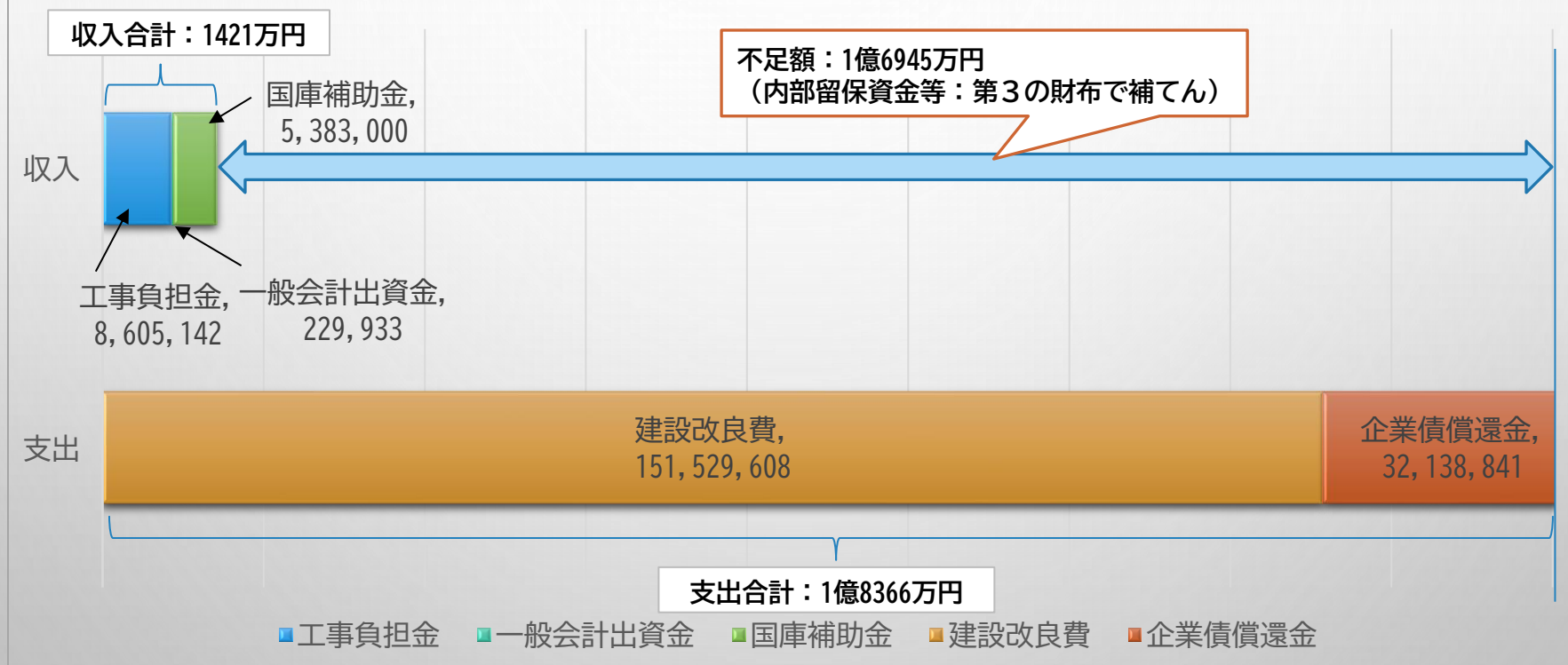


令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-2 収支の状況

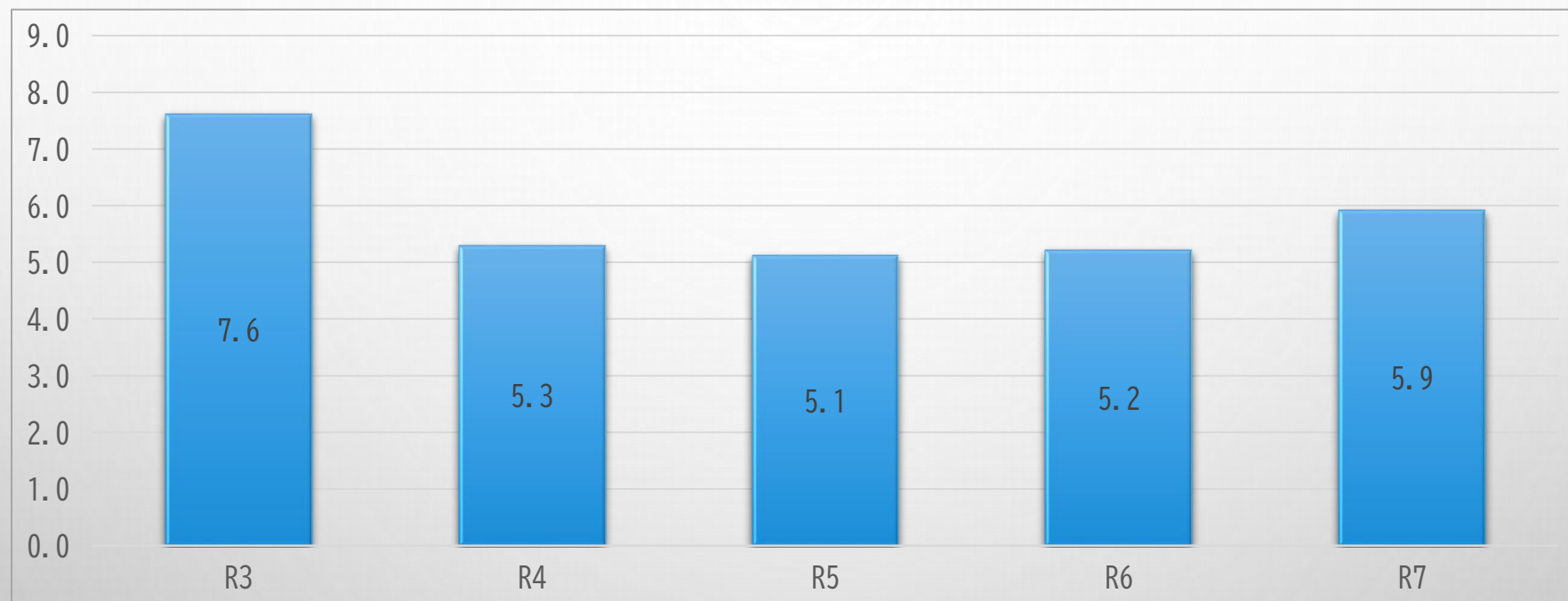
○資本的収支：第2の財布(税込)



令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-3 水道事業会計の内部留保資金等残高(第3の財布)の推移



○内部留保資金とは…

収益的収支で生じた純利益や減価償却費などの現金支出を伴わない費用を、企業内に留保した資金のこと。主に、損益勘定留保資金(減価償却費や長期前受金戻入など、会計上の取引でありながら現金の動きを伴わない部分)、積立金などで構成され、資本的収支不足額の補てんや、将来の施設更新に必要な建設改良費の財源として使用される。

令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-4 水道事業会計の企業債残高の状況

年度	内容	金額
6	前年度期末残高	3億6139万円
7	償還(返済)額	△3214万円
	起債(借入)額	0万円
	当年度期末残高	3億2925万円

1-5 水道事業会計の企業債残高の推移(5年間)



令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-6 令和7年度の主な事業

収益的収支(税抜)	資本的収支(税込)
・二股浄水場官民連携可能性詳細調査業務 1837万円 ・上水道台帳補正業務 539万円 ・二股浄水場再整備に伴う地質調査業務 415万円	・配水管布設替工事 めいてつ 3,960万円 ・配水管布設替工事 みそら野 3,319万円 ・無電柱化推進に伴う配水管布設替工事 1,122万円



二股浄水場再整備に伴う地質調査業務



無電柱化推進に伴う配水管布設替工事

令和7年度決算の説明

1 水道事業会計

1-7 財務・経営の状況(指標)

No.	指標	指標の解説	単位	望ましい方向性	目標値	R6実績	R7実績
1	流動比率	100%以上なら短期債務を全額支払う現金等があることを示す。	%	高いほど良い 	100%以上	943.90	1023.59
2	企業債残高対事業規模比率	給水収益に対する企業債残高の割合により企業債残高の規模を表す。	%	低いほど良い 	短期目標:880%以下 (中期目標:540%以下) (長期目標:230%以下)	127.40	95.32
3	内部留保資金残高	企業内部に留保された余剰資金で、翌年度以降の財源として使用できる現金等残高。	千円	高いほど良い 	維持管理費+元利償還費の半期分以上を確保	522,154 (96,278)	591,980 (94,753)

※実績欄下段括弧内は目標値

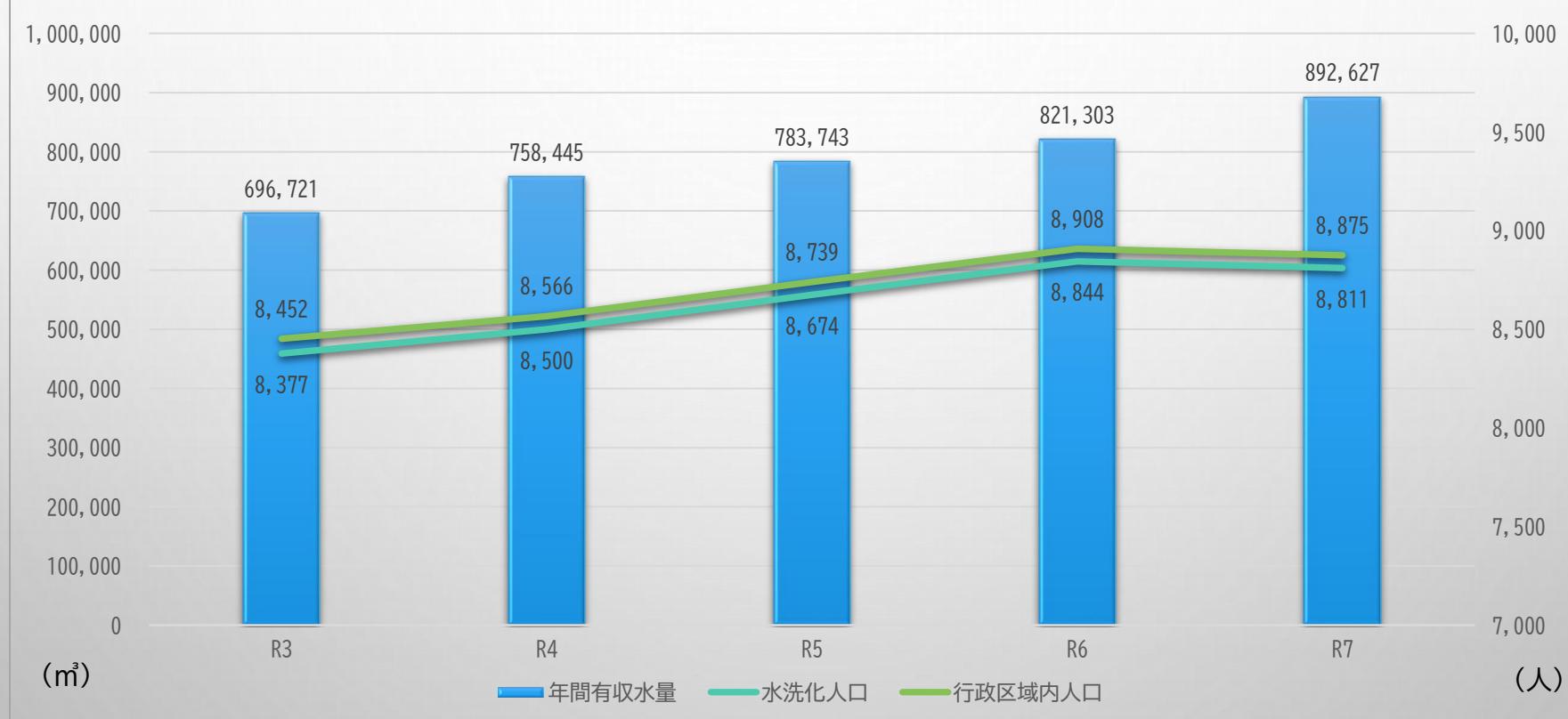
2 下水道事業会計

令和7年度決算の説明

2 下水道事業会計

2-1 下水道事業の推移

○年間有収水量、水洗化人口、行政区域内人口の推移



(人口基準時点:3月31日)

令和7年度決算の説明

2 下水道事業会計

2-2 収支の状況

○収益的収支：第1の財布（税抜）

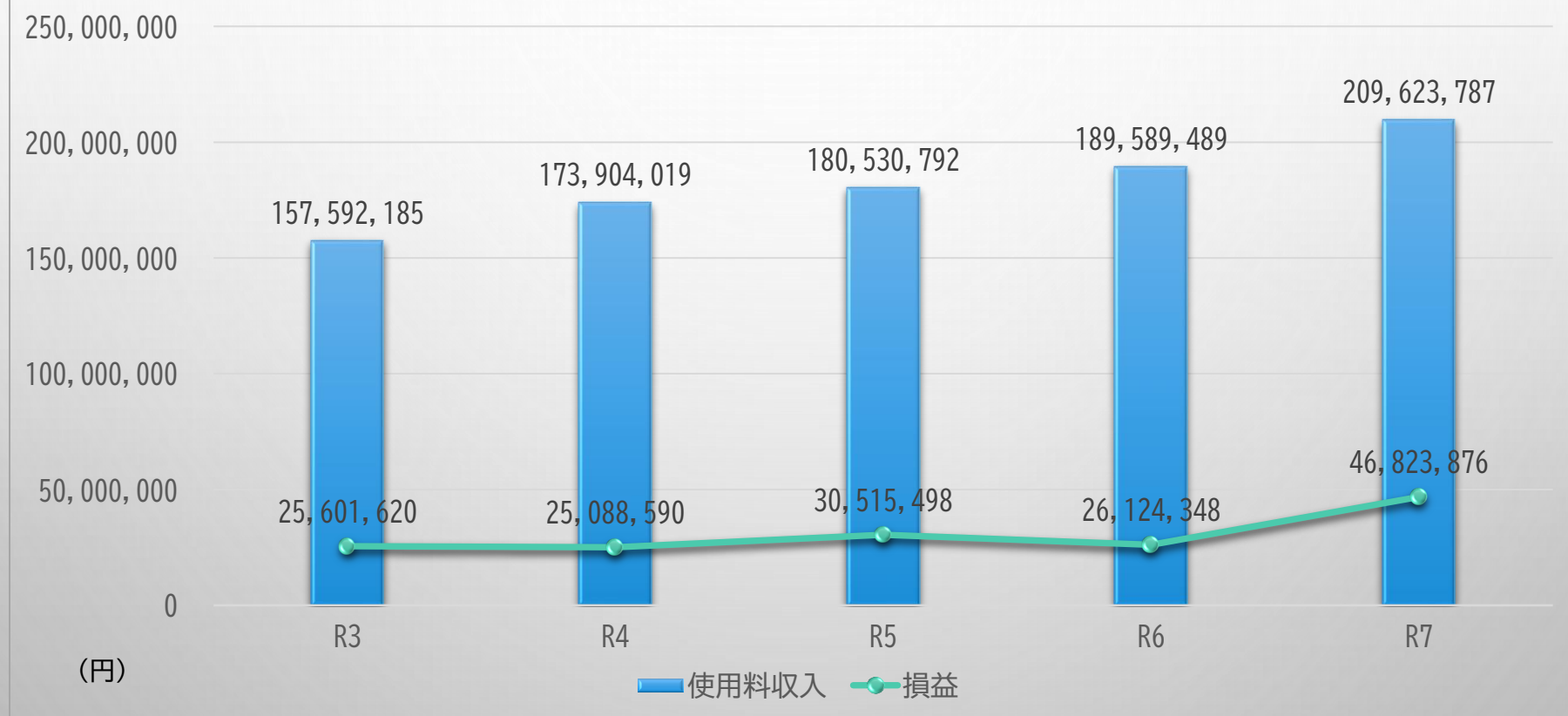


令和7年度決算の説明

2 下水道事業会計

2-2 収支の状況

○使用料収入、損益の推移(税抜)

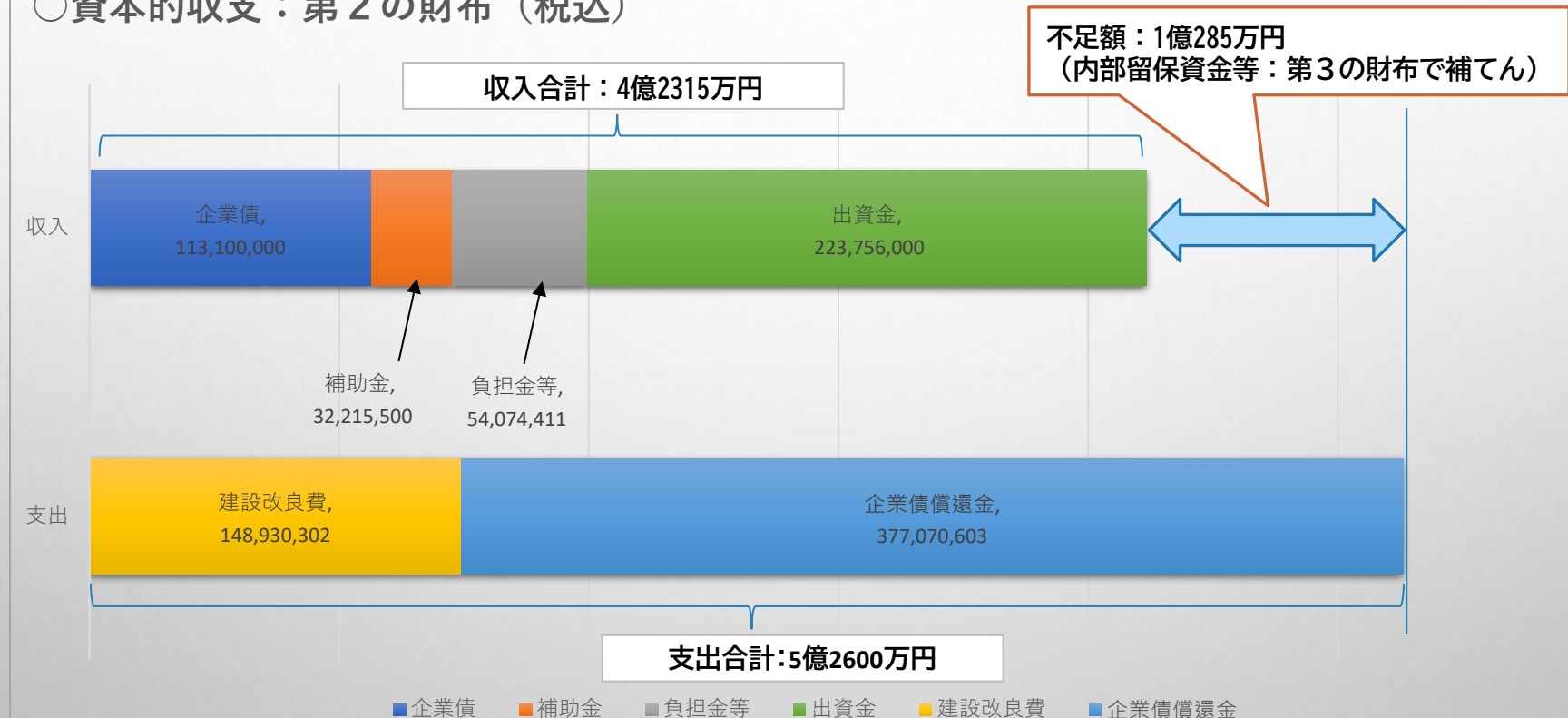


令和7年度決算の説明

2 下水道事業会計

2-2 収支の状況

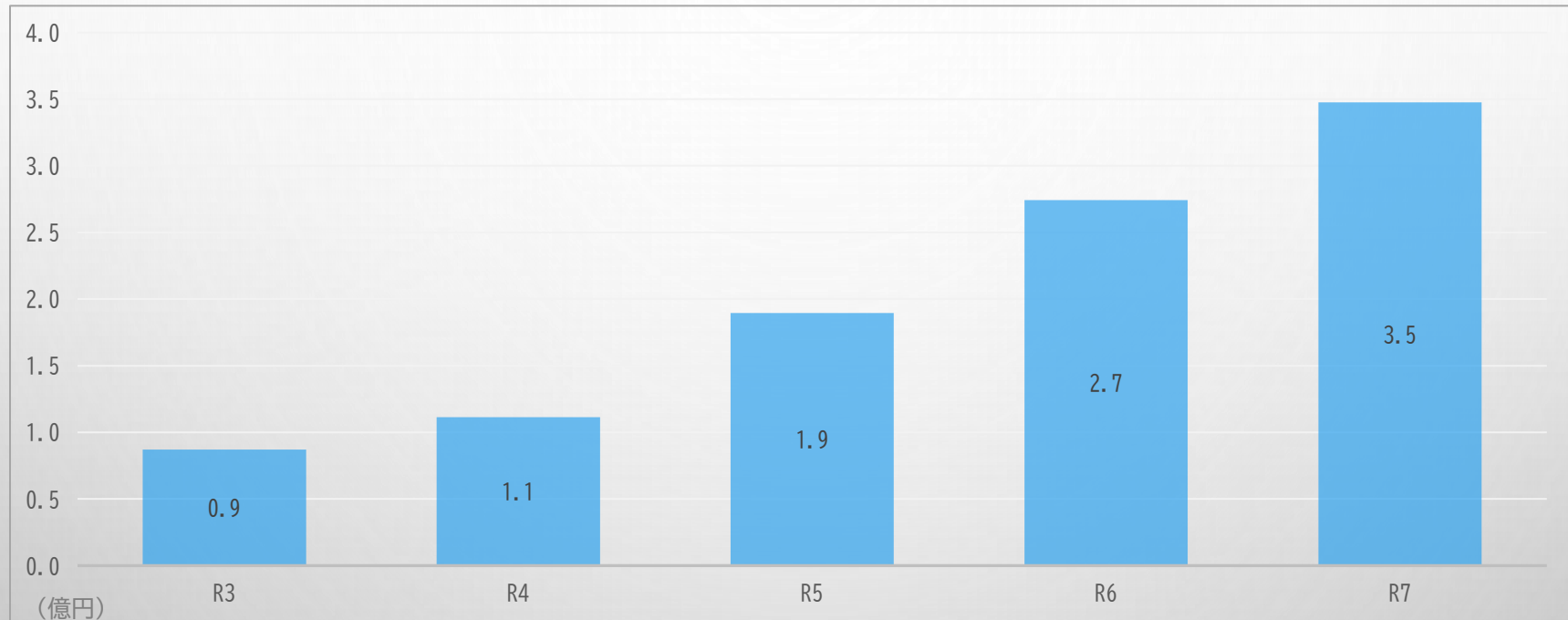
○資本的収支：第2の財布（税込）



令和7年度決算の説明

2 下水道事業会計

2-3 下水道事業会計の内部留保資金等残高の推移



○内部留保資金とは…

収益的収支で生じた純利益や減価償却費などの現金支出を伴わない費用を、企業内に留保した資金のこと。主に、損益勘定留保資金(減価償却費や長期前受金戻入など、会計上の取引でありながら現金の動きを伴わない部分)、積立金などで構成され、資本的収支不足額の補てんや、将来の施設更新に必要な建設改良費の財源として使用される。

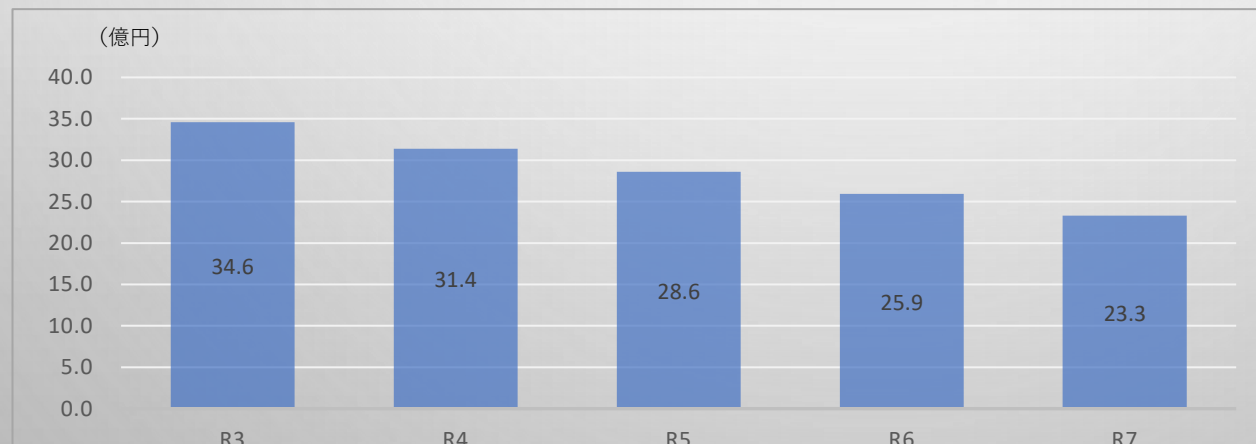
令和7年度決算の説明

2 下水道事業会計

2-4 下水道事業会計の企業債残高の状況

年度	内容	金額
6	前年度期末残高	25億9368万円
7	償還(返済)額	△3億7707万円
	起債(借入)額・下水道事業債	310万円
	起債(借入)額・資本費平準化債	1億1000万円
	当年度期末残高	23億2971万円

2-5 下水道事業会計の企業債残高の推移



令和7年度決算の説明

2 下水道事業会計

2-6 令和7年度の主な事業

収益的収支(税抜)	資本的収支(税込)
・上下水道事業包括的業務委託 4,732万円 ・私道(共同)配水設備等設置事業補助金 346万円	・公共柵設置工事 11件 535万円 ・浄化センター曝気装置ローター更新工事 2640万円 ・し尿等投入施設建設工事発注支援業務(繰越分) 4,879万円



令和7年度決算の説明

2 下水道事業会計

2-7 財務・経営の状況(指標)

No.	指標	指標の解説	単位	対象事業	望ましい方向性	目標値	R6実績	R7実績
1	経常収支比率	100%以上なら単年度の収支が黒字であることを示す。	%	公共下水道	高いほど良い 	100%以上	105.90	110.50
2	流動比率	100%以上なら短期債務を全額支払う現金等があることを示す。	%	全体合算	高いほど良い 	100%以上	75.73	96.77
3	企業債残高対事業規模比率	使用料収入に対する企業債残高の割合により企業債残高の規模を表す。	%	公共下水道	低いほど良い 	類似団体平均以下	1248.73 (730.84)	1063.44 (807.17)
4	経費回収率	使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表す指標。	%	公共下水道	高いほど良い 	100%以上	99.31	113.18
5	施設利用率	施設の利用状況や適正規模を判断する指標で、処理水量が多いほど上昇する。	%	公共下水道	高いほど良い 	55%以上	51.98	51.74
6	内部留保資金残高	企業内部に留保された余剰資金で、翌年度以降の財源として使用できる現金等残高。	千円	全体合算	高いほど良い 	維持管理費＋元利償還費の半期分以上を確保	274,281 (306,628)	347,679 (413,491)

※企業債残高対事業規模比率の類似団体平均は、対象年度の前年度値(類似団体平均の発表は翌年1月頃のため) ※実績欄下段括弧内は目標値